2015年
入試用

学校説明会レポート

ICHISHIN
市進

帝京大学中学校・高等学校

日時　2014年6月11日（水）11時00分～12時20分
所在地　立川市
会場　パレスホテル立川　ローズルーム
対象　塾
出席者数　約６０名
配付資料　中学学校案内・説明会パンフレット・2014 年入学試験問題・解答用紙・説明会資料など

説明会の概要

あいさつ　学校長　武山先生　11：00～11：15

- 2014年の中学入学試験は、昨年度、および一昨年度から数字を伸ばし、総数559名の受験者に本校をチャレンジしてもらうことができました。例年、入学してきた生徒達に本校の志望理由を聞くのですが、「塾の先生に勧められたから」と答える生徒が多く、おかげさまで受験者が増加しました。
- 社会は近年、激しい変化を見せています。将来そのような社会で生きていくために子供達には幅広い知識を身につけさせ合理的分析力や論理的類推力を養うことが本校に課せられた使命と感じ、今後もよりいっそう教職員一丸となって努力していくつもりです。

帝京大学中高の数学　副教頭数学科　松下先生　11：15～11：35

- 昨今の、理系志望の増加に伴い、本校でも近年数学と理科に力を注いできました。その観点から今年の現役合格率を見てみたいと思います。
- 今年は現役東大合格者が４名、東大を除いた旧帝大が５名と比較的良い結果が出ました。東工大も４名合格し、北大も理系の学部での合格など、今年は理系を中心に合格率を伸ばすことができました。理科大＋GMARCHの合格率がここ２年低下しているのに比べて、東大＋早慶上智の合格率が上昇しているのは、受験者のレベルが徐々に上がっているというようにも考えられます。

- 本校では、中学２年次までに中学の教育課程を終え、中学３年次からは高校数学、高校３年からはコース別で記述演習を行うカリキュラムを採用しています。中学１・２年次は習熟度別授業で基礎基本の計算力をつけるように指導しています。使用するテキストも一般のもの（体系数学・数 BEKI）です。中学３年次・高校１年次ではオリジナルテキストを使用し、大学受験に十分対応できる力を付けていきます。高校２年次ではコース別になりますが、物理と連携した数学の授業を行い、理系の大学進学の合格率を大きく上げる結果を出すことができました。
- 高校３年次では学年を９名の専任講師が受け持ち、きめ細かい指導を心がけています。
- 数学の授業では飽き足らなくなった一部の生徒で「数学研究会」という非公認の会を作り、自分達で問題を作成し、解答していくという活動を行っています。2014 年東大合格者のうち２名はこの会に所属し、受験期も月１回の活動を楽しんでおりました。
- 本校は中高６年一貫教育を掲げていますが、その６年間の教育の成果を見るために大学合格率も一貫生を中心に見ていきたいと思います。
- 2014 年春一貫生の卒業生 122 人に対して、東大の合格者数は４名。また、東大＋早慶上智の合格者数は計 119 名となっております。

帝京大学中高の理科

理科・生物担当　石原先生　11：35～11：55

- 中学全体における学力定着の取り組みとして、朝講座と夕講座を取り入れています。朝講座では毎日曜日に道徳（読み書き）・数学・英単語・漢字・古典の小テストを行っています。土曜日の道徳（読み書き）では、天声人語の美文字での書き取り練習が実施されています。夕講座では、平日の放課後に NHK のラジオ講座を使用しての講義を行っています。
- また、授業外でも学習サポートを充実させ、朝講座の小テストで成績の良くなかった生徒に対する再試験や主に英語・数学における放課後補習、定期試験前に行う指名補習、さらに個人面談等で一人ひとりに対するきめ細かい指導を行っています。
- 中学での理科教育に関しては１分野（物理・化学）と２分野（生物・地学）に分けてそれぞれ専門の教員が担当します。また、可能な範囲で高校レベルの内容も学習します。授業にプラスして、実験・観察・レポートと演習（基礎・応用）を行うことで将来理系大学に進学した後でも役に立つ「科学者的素養」を養いたいと考えています。
- 授業は実験を数多く行います。生物分野では染色体の観察・DNA の抽出を、科学分野では炎色反応や色素の抽出などを行います。夏休みには２時間連続の実験も実施します。環境教育も力を入れており、学校裏の林でビオトープを作ったり、フィールドワークとして森林の種組成などの調査を行ったりします。また、医学部進学希望者の増加に伴い、ブタの頭蓋骨を使って脳や目などの神経系の解剖も実施します。高校２年次には横浜国立大学臨海環境センターにて、ウニの受精・初期発生の観察や大学教授による特別講座を実施します。

- 私自身が現在 NGO でベトナムでのマングローブの植林活動を行っており、本校の卒業生の中からも毎年、国際交流をしながらの植林活動に参加してくれる者もいて、環境に対する意識を高めることができていると考えています。

平成 27 年度入学試験

広報主任　田中先生　11：55～12：20

- 【変更点】 中学入試→（あり）第三回入試における国語・算数の選択制を廃止。

2014 年	国語 40 点　算数 40 点	必修	
	国語または算数 20 点	選択	合わせて 60 分
2015 年	国語 100 点　算数 100 点		各 50 分

- 第三回入試の国語算数の選択制の影響が学力判断の基準になっていないということを反省し、第三回入試の試験内容を変更しました。出題内容や傾向は従来と変更しない予定ですが、記述を含む問題を大問で２題出題する予定です。

説明会の雰囲気・印象

- 学校側の熱意が感じられました。資料に過不足はなく、実績の良かった大学進学について丁寧に説明がされました。これからさらに進学実績を上げなければという危機感を学校側が強く持っている印象を受けました。